



東証一部上場 証券コード：3666
株式会社テクノスジャパン

決算説明資料 -2022年3月期 第2四半期-

株式会社テクノスジャパン
2021年11月10日

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる未来を切り拓く ～

1. 会社概要
2. 決算概要 (2022年3月期 第2四半期)
3. 業績見通 (2022年3月期)
4. 事業概況
5. 参考資料

1. 会社概要

1	会社概要
2	決算概要（2022年3月期 第2四半期）
3	業績見通（2022年3月期 通期）
4	事業概況
5	参考資料

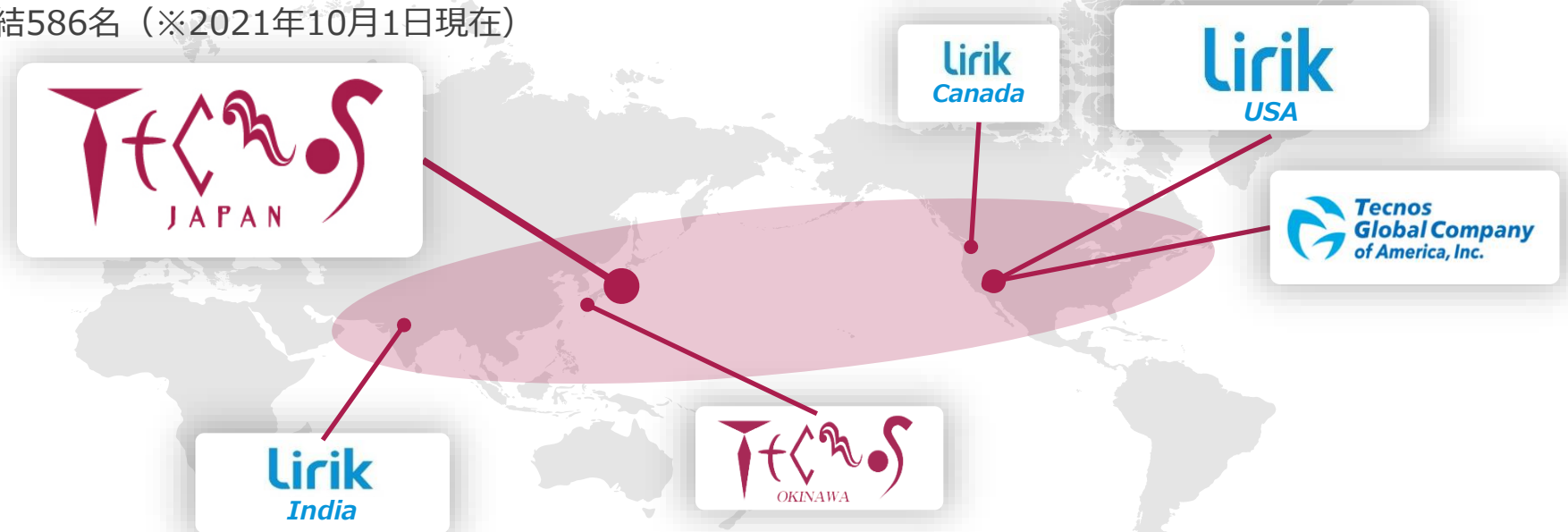
会社名	株式会社テクノスジャパン - 1994年設立 東証一部：証券コード3666 代表取締役社長 吉岡 隆	【日本 東京都、大阪府、愛知県、福岡県】
連結子会社	沖縄テクノス株式会社 Tecnos Global Company of America, Inc. Lirik, Inc. Lirik Software Services Canada Ltd. Lirik Infotech Private Limited.	【日本 沖縄県】 【米国 カリフォルニア州】 【米国 カリフォルニア州】 【カナダ ブリティッシュコロンビア州】 【インド ハリヤナ州】
事業	<u>企業向け経営・業務システムにおけるDX推進事業</u> <ul style="list-style-type: none">・ 企業向けDX（デジタルトランスフォーメーション）のコンサルティング・ 基幹業務システム（ERP）・顧客管理システム（CRM）・テクノス独自のプラットフォームサービス（CBP）を組み合わせたビジネスコンサルティング・ システムグランドデザイン、要件定義、設計、開発、保守に至る一連のシステムサービス	
従業員数	単体352名 連結586名（※2021年10月1日現在）	

**企業向け経営・業務システム
におけるDX推進事業**
(デジタルトランスフォーメーション)

ERP×CRM×CBP

新技術発掘

ニアショア・オフショア
(開発センター)



経営・業務デジタル改革

DX=ERP×CRM×CBP(※)

(※) テクノス独自の「企業間協調プラットフォーム」
(Connected Business Platform)

自社ブランドで新市場開拓 CBPビジネス

2021.5 CBP注文決済サービスリリース
2021.4 e-zukaイノベーションラボ 開設

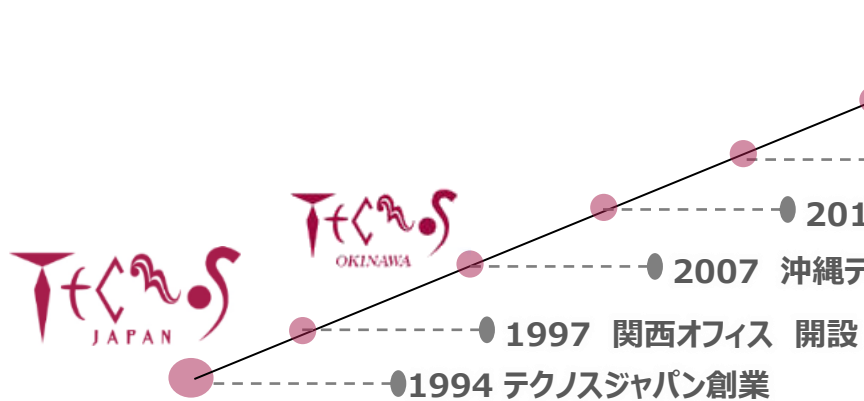
2020.10 ACK 吸収合併
2020.1 ACK 買収

2018.12 TDSE 上場
2018.6 Lirik 買収

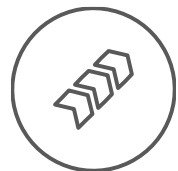
M&Aにより強化した
CRMビジネス

Lirik

Tecnos
Global Company
of America, Inc.

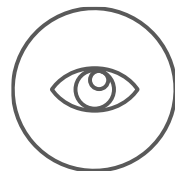


創業期からのビジネスコア ERPビジネス



MISSION

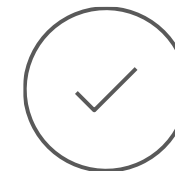
企業・人・データをつなぎ
社会の発展に貢献する



VISION

LEAD THE CONNECTED
SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる社会の未来を切り拓く ～



VALUES

- ・顧客志向・グローバル志向
- ・個性融合のチームワーク
- ・創造、変革、改善

テクノスグループの主な取扱ソリューション

ERP

(Enterprise Resource Planning)
企業の基幹業務システム

- 企業内の「生産・購買・在庫・販売・会計」といった基幹業務を高度化するため、「企業リソース：人・モノ・カネ・情報」を計画・実行・管理するシステム

SAP S/4HANA

SAP S/4HANAは、独SAP社のインメモリーデータベースSAP HANAを基盤とする統合型インテリジェントERPシステムで、2015年に従来のクライアント/サーバー型のERPから大きく進化ERP市場において、グローバルでのリーダーポジションに位置している

miframe

純国産ERPソリューションで、「ものづくりのためのIT」をコンセプトに、製造現場に寄り添ったERPパッケージ

Oracle NetSuite

ERP/財務会計および顧客管理などを含む主要な業務アプリケーション機能を提供するビジネス管理ソフトウェア

CRM

(Customer Relationship Management)
顧客管理システム

- 企業内の営業・サービスパーソン・コールセンター等の業務を支え、顧客満足度向上を通して、売上の拡大と収益性の向上を目指すシステム

Salesforce

Salesforceは米Salesforce社が提供する完全クラウド型のCRMソリューションおよびプラットフォーム。幅広く同プラットフォーム上で提供される様々なサービスが存在CRM市場において、グローバルでのリーダーポジションに位置している

CBP

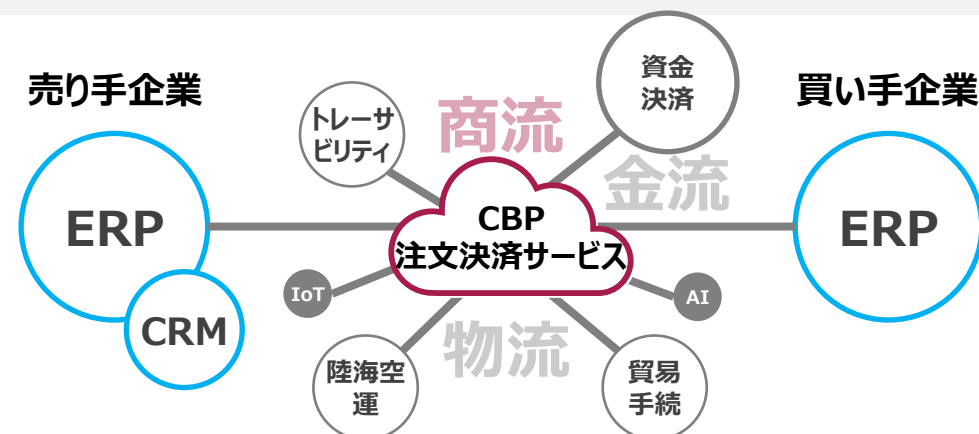
(Connected Business Platform)
企業間協調プラットフォーム

- テクノスジャパン独自の企業間協調プラットフォーム



CBP注文決済サービス

企業間の共通データを活用し、企業間の注文～決済業務の高度化、サプライチェーン全体の効率化を推進するシステム



2.決算概要（2022年3月期 第2四半期）

1	会社概要
2	決算概要（2022年3月期 第2四半期）
3	業績見通（2022年3月期 通期）
4	事業概況
5	参考資料

2022年3月期 第2四半期累計は、前年同期比で、増収増益

- 当第2四半期累計の業績は、概ね計画通りに推移
- 国内外ともに好調も、特に海外子会社の業績好調で全体の業績を押し上げ

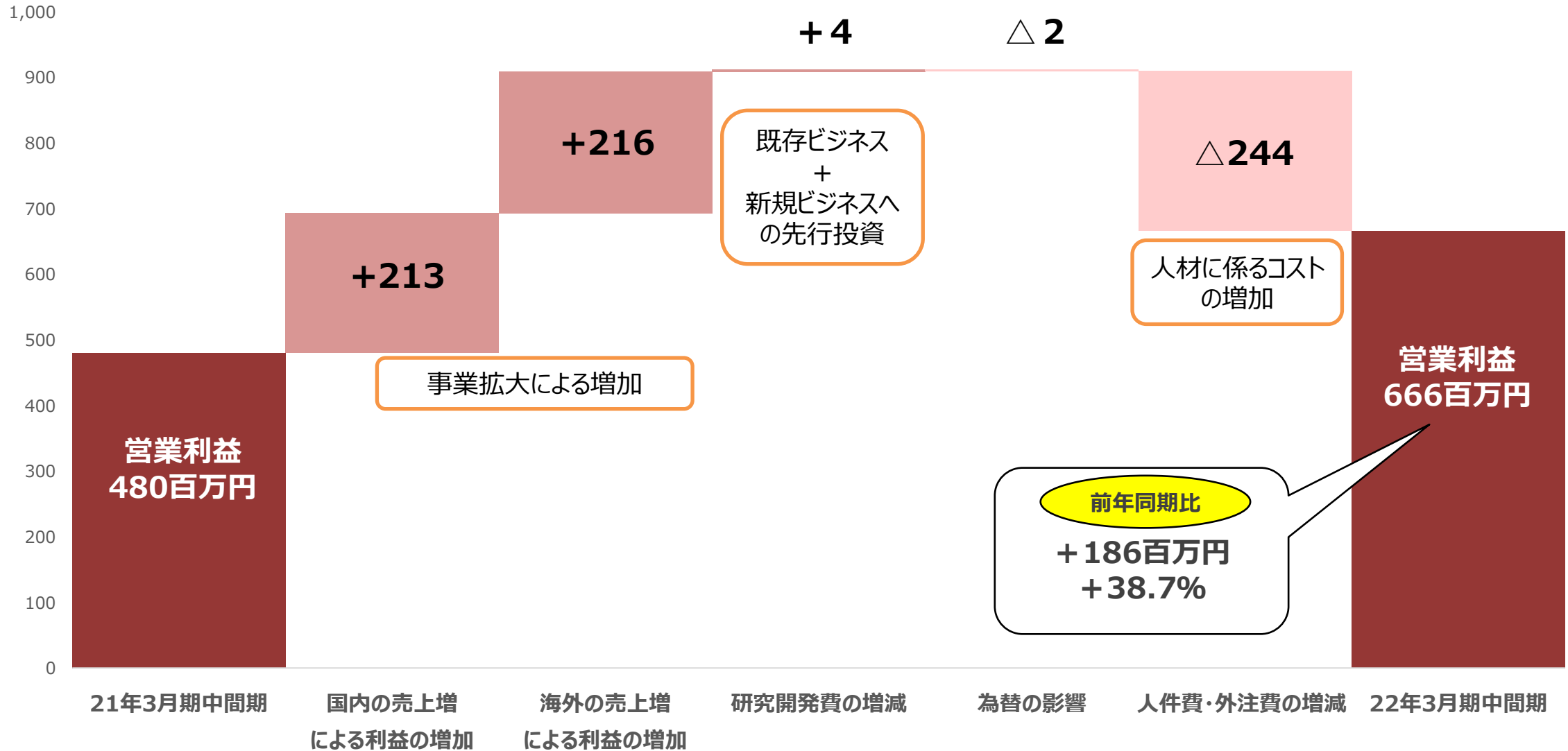
（単位：百万円）

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前年度比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	3,991	4,589	+598	+15.0
売上総利益 (売上総利益率)	1,213 30.4%	1,488 32.4%	+275	+21.3
営業利益 (営業利益率)	480 12.0%	666 14.5%	+186	+38.7
経常利益 (経常利益率)	497 12.5%	690 15.0%	+193	+38.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	354	448	+94	+26.5
1株当たり 四半期純利益 (円)	17.99	22.75	4.76	+26.5

2022年3月期 第2四半期累計・連結営業利益増減要因

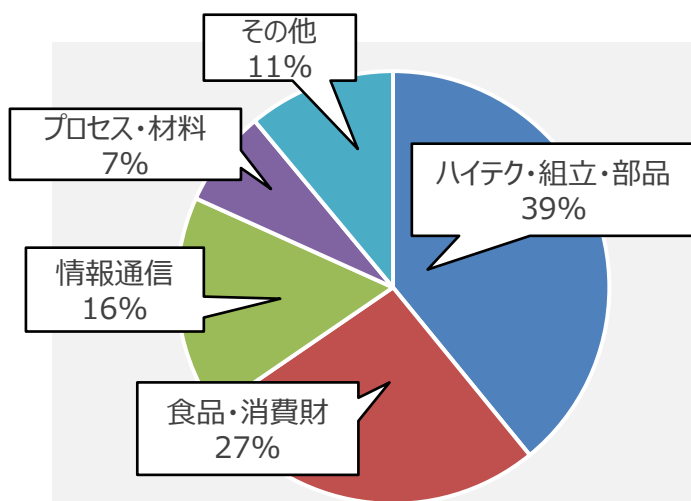
証券コード
3666

(単位：百万円)

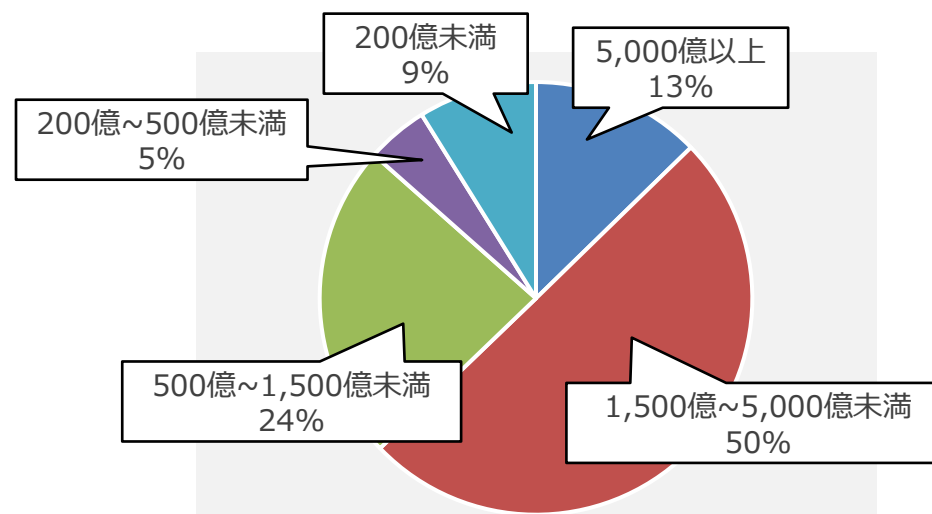


大手製造業のお客さまを中心にビジネスを展開

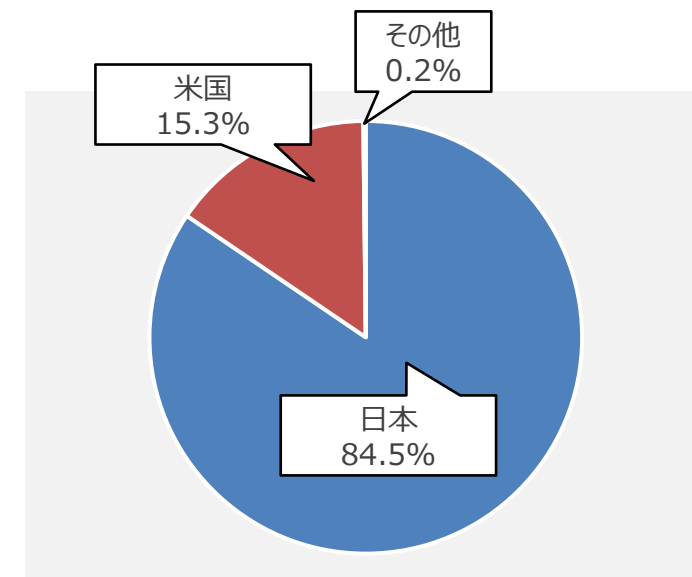
業種別売上高構成



サービス先規模別売上高構成



サービス先地域別売上高構成



2022年3月期 第2四半期・貸借対照表 (連結)

証券コード
3666

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月第2四半期			主な増減要因
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減額	
流動資産	4,171	(63.7%)	4,346	(66.4)	175	現金及び預金 △101 売掛金 +263 仕掛品 △13
固定資産	2,379	(36.3%)	2,199	(33.6)	△180	顧客関連資産 △4 のれん △17 投資有価証券 △153
資産合計	6,550	(100.0%)	6,545	(100.0%)	△5	
流動負債	1,224	(18.7%)	1,106	(16.9)	△118	1年以内返済予定長期借入金 10 未払金 △9 未払法人税等 △140 未払消費税等 25
固定負債	351	(5.4%)	316	(4.8)	△35	長期借入金 △9 繰延税金負債(固定) △23
負債合計	1,575	(24.1%)	1,423	(21.7)	△152	
純資産合計	4,974	(75.9%)	5,122	(78.3)	148	利益剰余金 +212 その他有価証券評価差額金 △106
負債・純資産合計	6,550	(100.0%)	6,545	(100.0%)	△5	
自己資本比率	75.6%	-	77.8%	-	-	

2022年3月期 第2四半期累計・キャッシュ・フロー（連結）

証券コード
3666

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	増減額	コメント
営業CF	△138	129	+267	法人税等 △258
投資CF	42	△9	△51	定期預金払戻 △73 敷金差入 22
フリーCF	△96	120	+216	
財務CF	△287	△236	+51	長期借入金 50
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	14	+18	
現金及び現金同等物の期首残高	2,066	2,412	+346	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,678	2,310	+632	

3.事業見通（2022年3月期 通期）

1	会社概要
2	決算概要（2022年3月期 第2四半期）
3	業績見通（2022年3月期 通期）
4	事業概況
5	参考資料

通期見通しは、5月発表の業績予想を据え置き

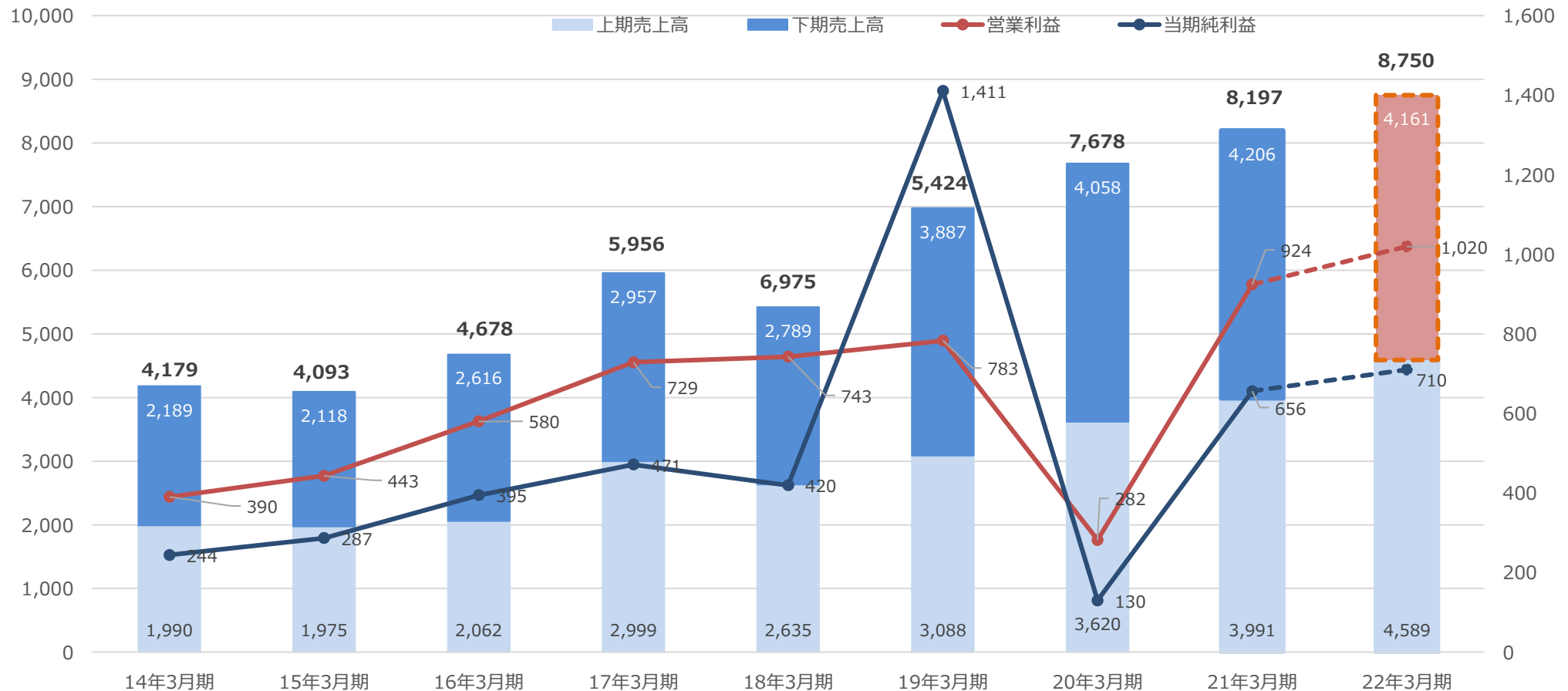
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期		2022年3月期	前年度比	
		第2四半期累計	進捗率		増減額	増減率 (%)
売上高	8,197	4,589	52.4%	8,750	+553	+6.7%
営業利益 (営業利益率)	924 11.3%	666 14.5%	65.3%	1,020 11.7%	+96	+10.4%
経常利益 (経常利益率)	958 11.7%	690 15.0%	65.4%	1,055 10.4%	+96	+10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	661	448	63.1%	710	+49	+7.4%
1株当たり 当期純利益 (円)	33.53	22.75	63.2%	36.00	+2.47	+7.4%
配当額	12	—	—	13	+1	—
EBITDA	1,043	718	63.0%	1,139	+96	+9.2%

第2四半期累計実績・通期見通しともに順調に推移

(単位：百万円)

(単位：百万円)



4. 事業概況

1	会社概要
2	決算概要（2022年3月期 第2四半期）
3	業績見通（2022年3月期 通期）
4	事業概況
5	参考資料

新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果と プライム市場基準充足への取り組みについてのお知らせ

各位	2021年10月29日
	会社名 株式会社テクノスジャパン 住所 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 代表者名 代表取締役 吉岡 隆 (コード番号: 3666 東証第一部) 問合せ先 取締役 小林 希与志 (TEL. 03-3374-1212)
新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果と プライム市場基準充足への取り組みについてのお知らせ	
当社は、本日開催の取締役会において、株式会社東京証券取引所（以下、東京証券取引所）で2022年4月より適用される新市場区分において、プライム市場を選択する方針であることを決議しましたので、お知らせいたします。	
記	
1. 新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果	当社は2021年7月9日付で東京証券取引所より通知された、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定の結果、プライム市場において規定される上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」に関する基準を充たしていない旨の通知を受けました。
・流通株式数	適合
・流通株式時価総額	不適合
・流通株式比率	適合
・売買代金	適合
2. プライム市場基準の充足へ向けた取り組み	上記の結果を踏まえ、当社は東京証券取引所の新市場区分についてプライム市場を選択する意向とし、その上場維持基準の充足を目指すことといたしました。 当社は、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るとともに、コーポレートガバナンスをより一層強化することで、プライム市場の上場維持基準の達成を目指してまいります。 なお、プライム市場の上場維持基準充足に向けた具体的な計画及び取り組みにつきましては、2021年12月までに東京証券取引所へ提出を予定している「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を通じてお知らせいたします。
以上	

1. 新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果

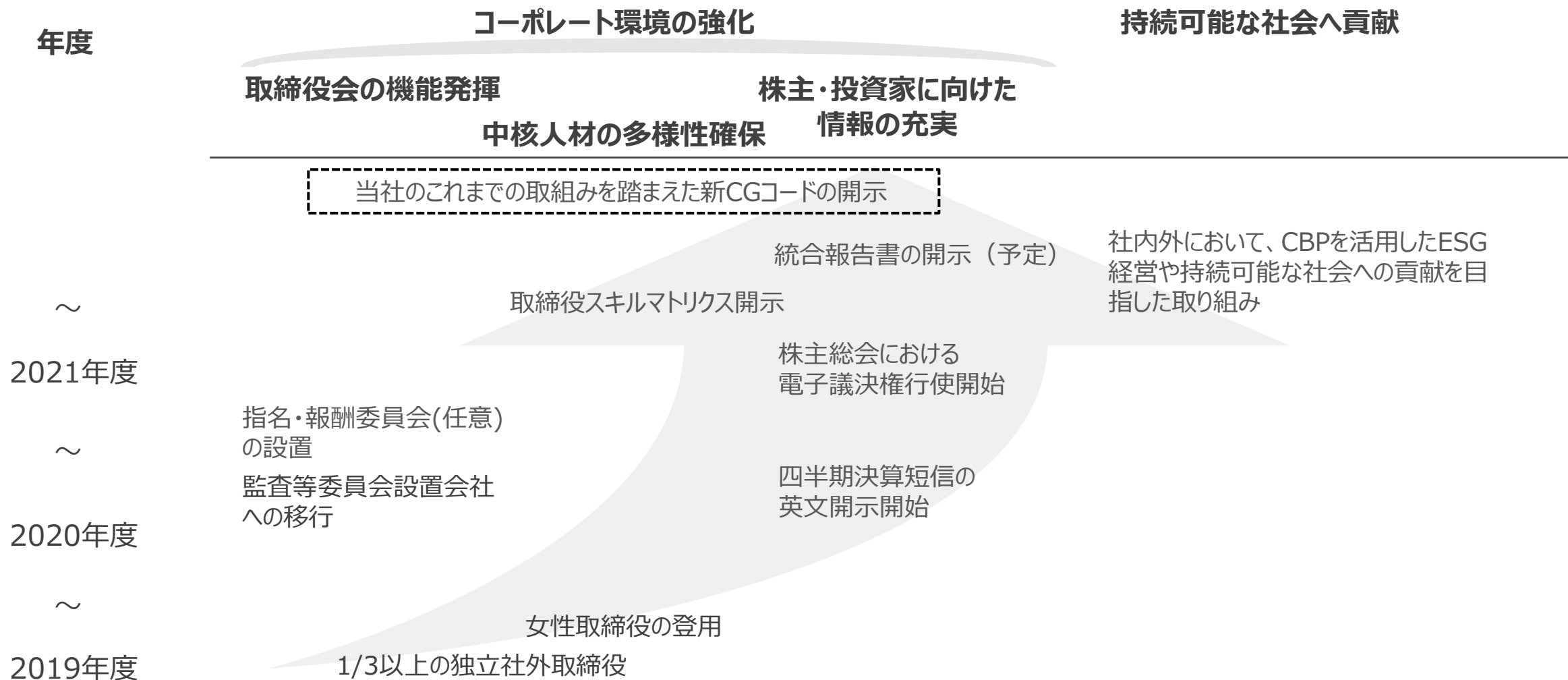
・流通株式数	適合
・流通株式時価総額	不適合
・流通株式比率	適合
・売買代金	適合

2. プライム市場基準の充足へ向けた取り組み

- ・東京証券取引所の新市場区分についてプライム市場を選択
- ・持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るとともに、コーポレートガバナンスをより一層強化することで、プライム市場の上場維持基準の達成を目指す

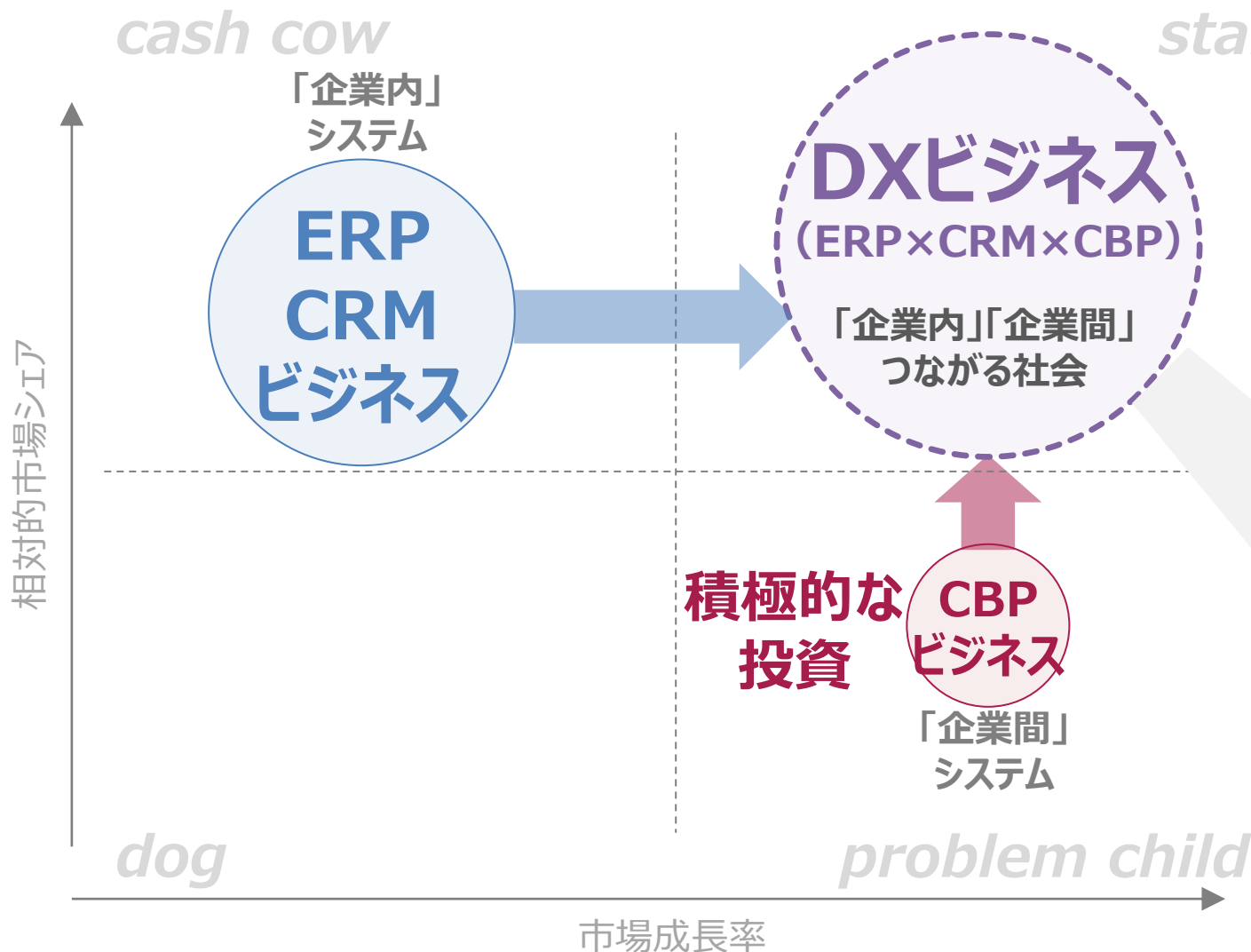
・「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」提出予定（2021年12月）

「コーポレートガバナンス強化」と「持続可能な社会への貢献」

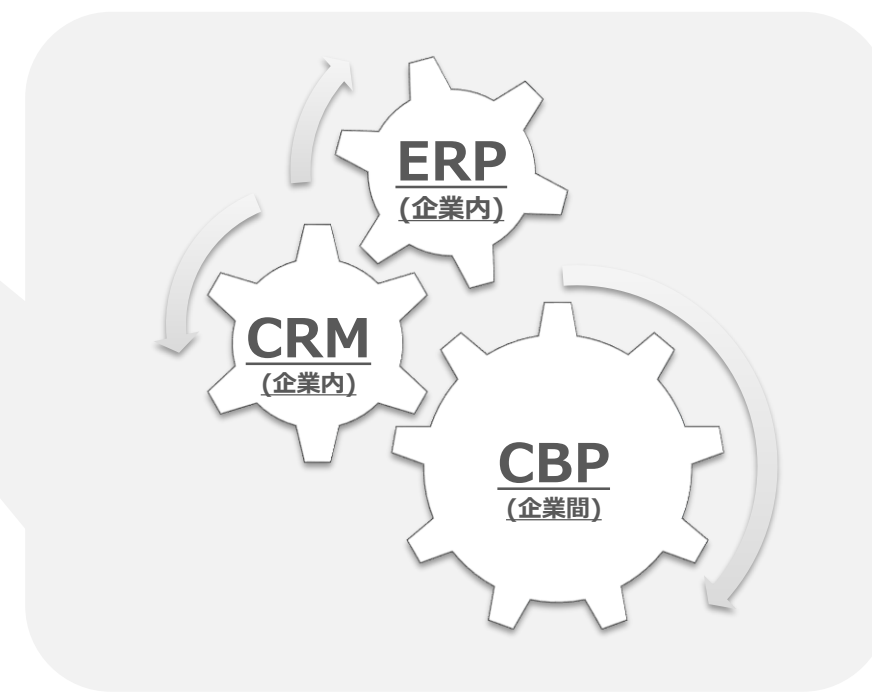


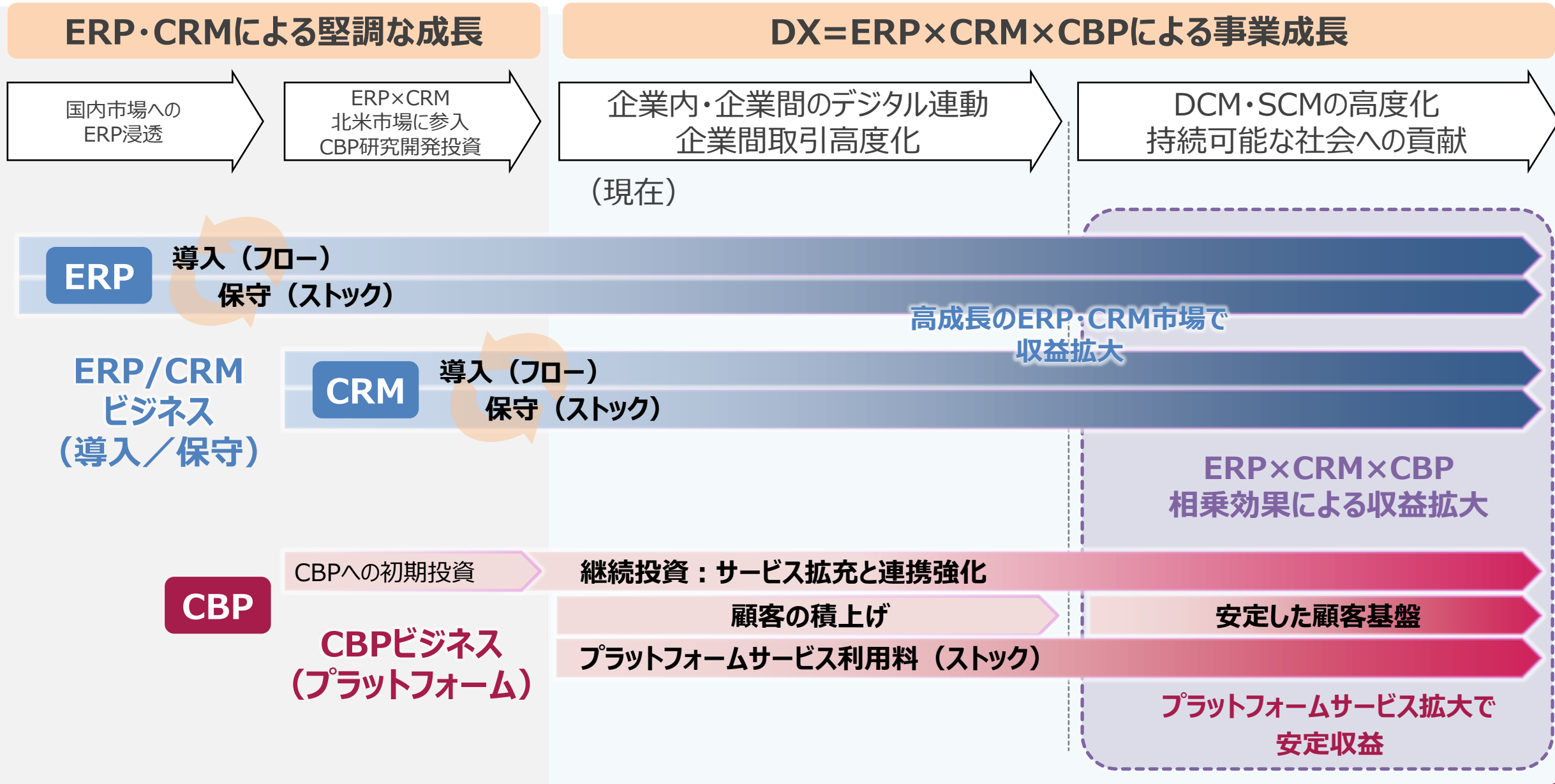
テクノスグループの
ビジョン

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE
～ つながる社会の未来を切り拓く ～



テクノスグループのミッション
企業・人・データをつなぎ
社会の発展に貢献する





成長モデル（収益と投資の枠組み）

■ ERPビジネス

- コロナ禍においても、ERP関連の引き合いは継続的に多く、需要過多の状況が続いている
- 大企業から中堅企業まで、幅広く引き合いがある
- ERPとクラウドを合わせた需要が増えている
- 旧版のSAP ERPが2027年にサポートを終了予定で、切り替え需要・システム再構築の検討準備が進んでいる

■ CRMビジネス

- コロナ禍で、テレワークの推進による営業スタイル変革を指向する企業が増え、CRM関連の引き合いは継続的に増えている
- 大企業から中堅企業まで、幅広く引き合いがある

図. ERP市場規模推移および予測：
提供形態別（2018～2024年度予測）

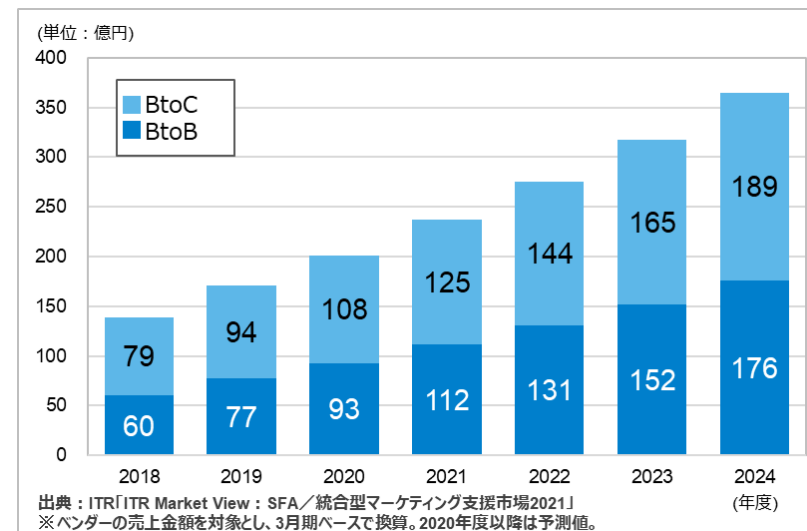
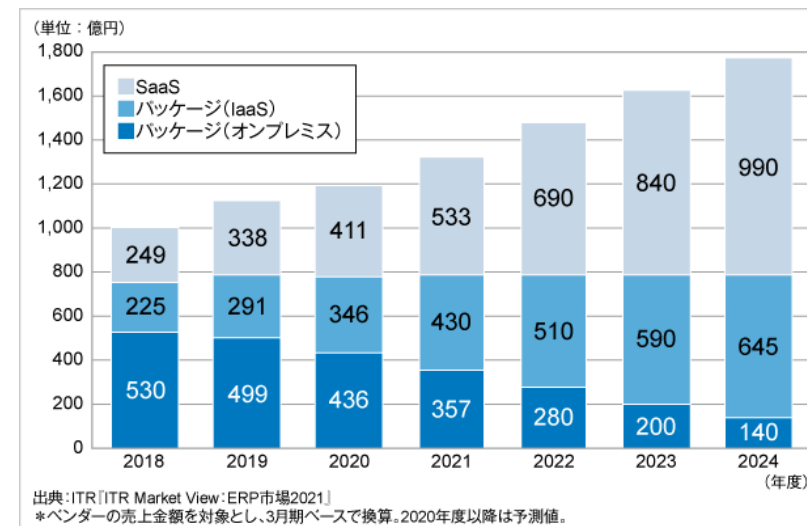


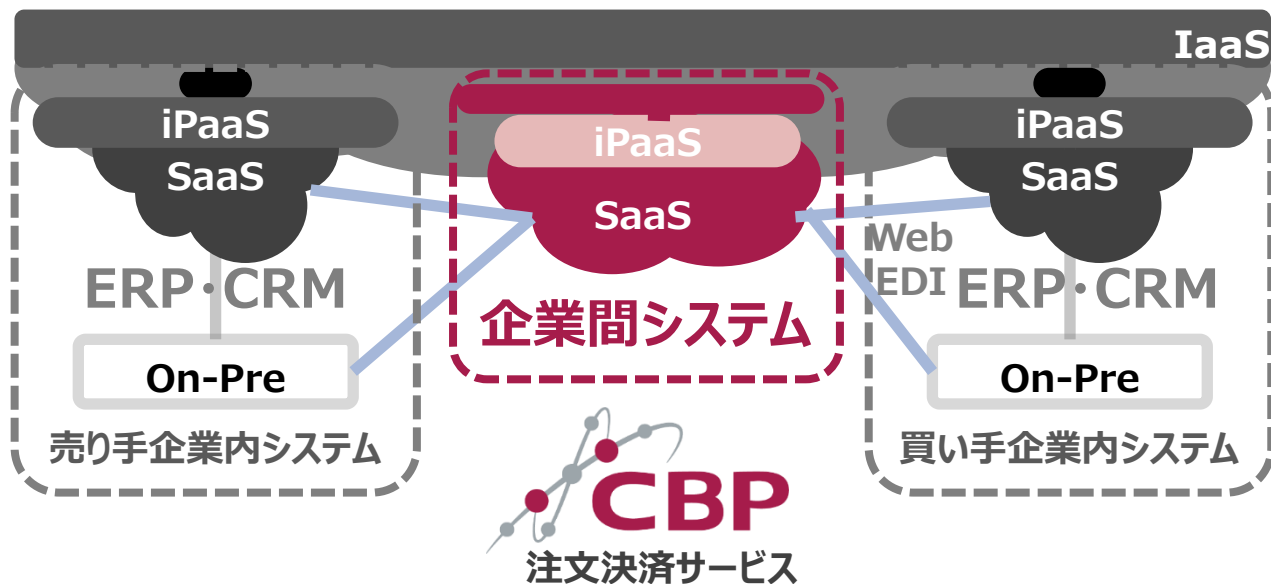
図. 統合型マーケティング支援市場規模推移および予測：
BtoB、BtoC別（2018～2024年度予測）

■ CBPビジネス（注文決済サービス）

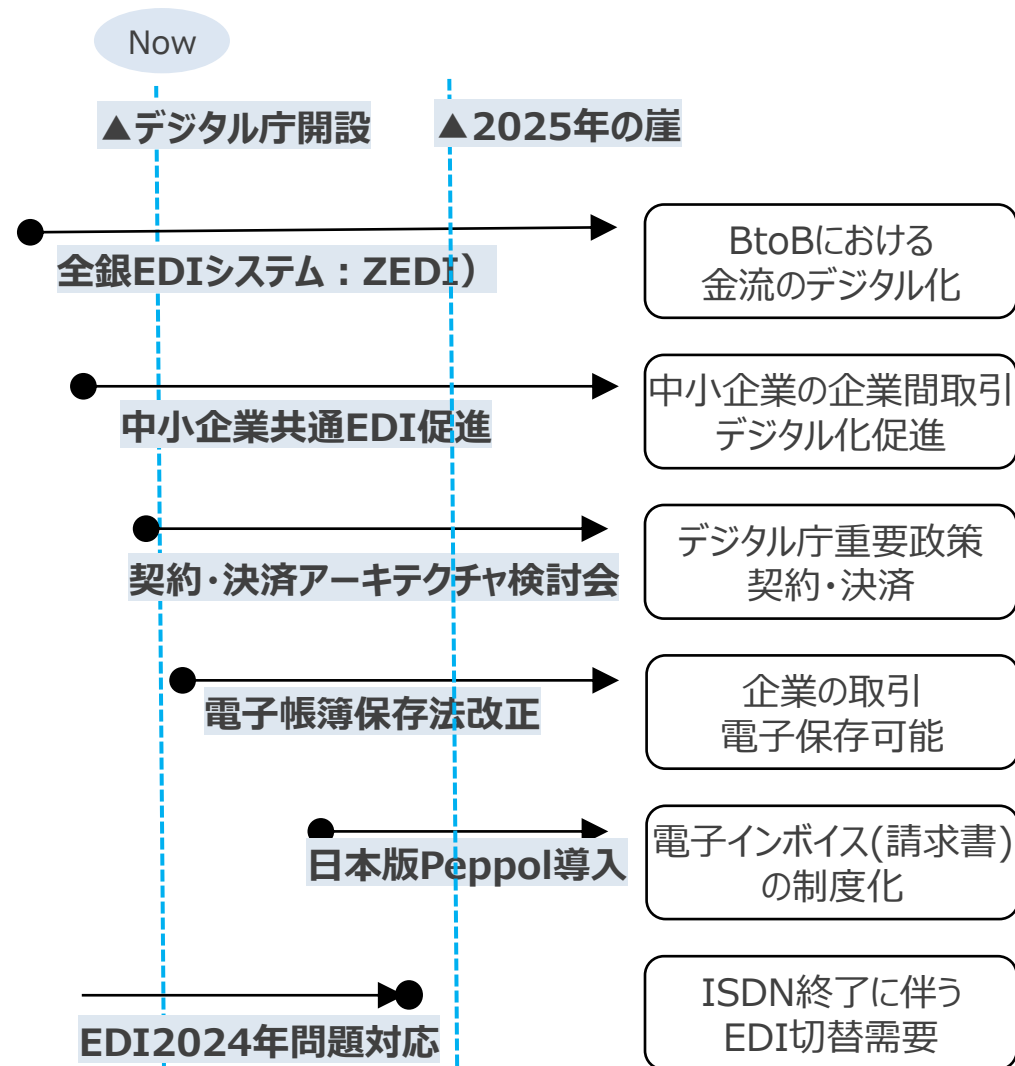
- 企業間取引に関する新しいソリューションのため、市場啓蒙・マーケティング・ERP・CRMと合わせた重層提案を強化しながら、販売促進中
- 直近、企業間取引市場におけるデジタル変革の機運は高まっており、2025年までに大きな需要喚起が見込まれる

EDI : Electric Data Interchange (電子データ交換) から

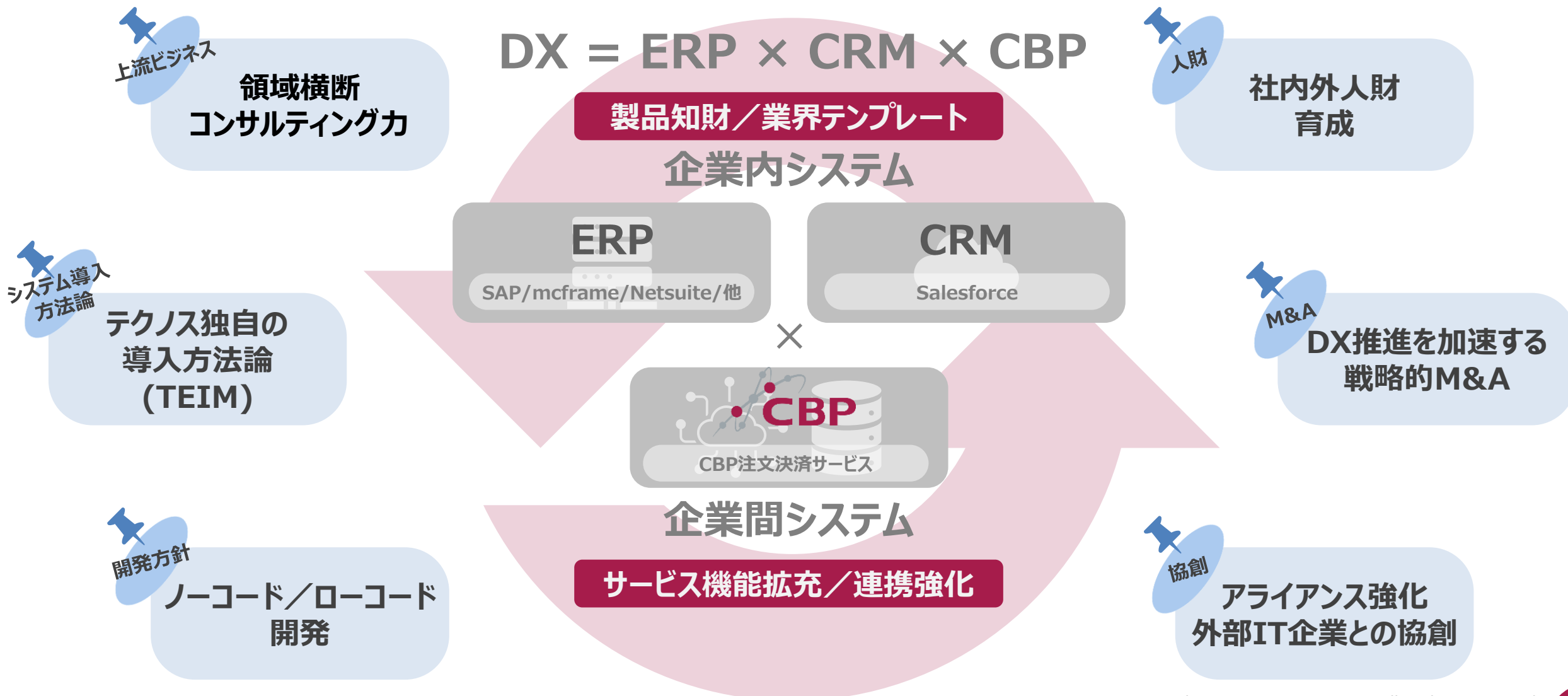
EDS : Electric Data Sharing (電子データ交換・共有・活用) へ



企業間取引のデジタル変革機運



お客さまと積み重ねた経営・業務知識 / IT技術変化への対応 / アライアンス



企業間取引の注文決済業務を効率化するプラットフォーム「CBP」と EDIで国内トップシェアの「ACMS Apex」の連携によりDXソリューションを展開



2021年11月8日
株式会社テクノスジャパン
株式会社データ・アプリケーション

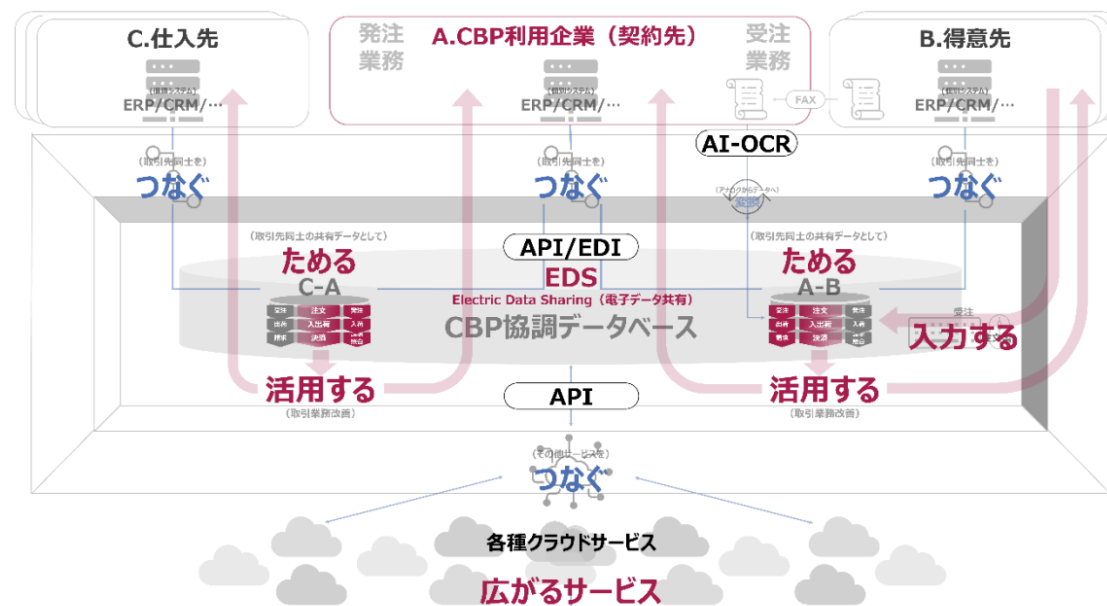
Press Release

テクノスジャパンとデータ・アプリケーションが業務提携

企業間取引の注文決済業務を効率化するプラットフォーム「CBP」と EDI 国内トップシェアの「ACMS Apex」の連携により DX ソリューションを展開！
クラウド上の企業間協調プラットフォームの活用で 企業の業務改革や全体最適化を加速

株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉岡 隆、東京証券取引所市場第一部：3666）と株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：安原 武志、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、業務提携（以下、本提携）契約を締結しました。

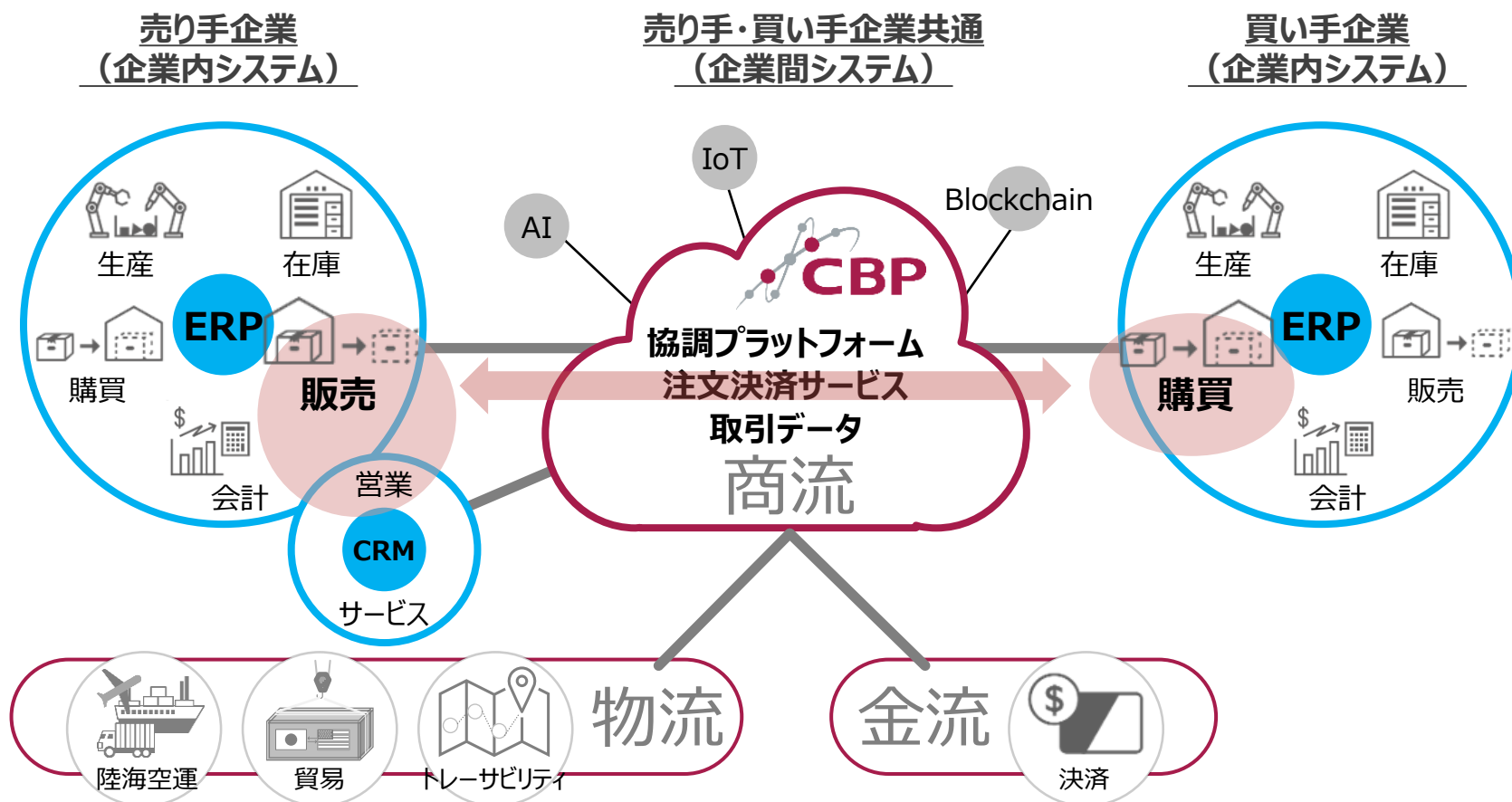
【CBPとACMS Apex連携イメージ】



詳細はプレスリリースをご参照ください。

企業間協調プラットフォームCBPをハブとした「エコシステム」の構築

「企業内」「企業間」のデジタル変革で、企業競争力の強化
商流-物流／商流-金流連動によるデジタルトランスフォーメーション



持続可能な社会への貢献

企業を跨る「DCM/SCMの高度化」

取引先との「取引業務高度化」
大企業だけでなく、
中小企業ともデジタル取引推進

5. 参考資料

1	会社概要
2	決算概要（2022年3月期 第2四半期）
3	業績見通（2022年3月期 通期）
4	事業概況
5	参考資料

公開日	タイトル
11/8	【ニュース】テクノスジャパンとデータ・アプリケーションが業務提携
11/1	【IRニュース】組織改正ならびに役員等の人事異動に関するお知らせ
10/29	【IRニュース】新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果とプライム市場基準充足への取り組みについてのお知らせ
7/29	【ニュース】テクノスジャパンが提供するクラウドサービス「CBP注文決済サービス」が 経済産業省が推進する「IT導入補助金2021」に認定
7/20	【メディア】日本経済新聞「NEXT1000」でテクノスジャパンが紹介されました
6/28	【メディア】当社社長がラジオNIKKEI「相場の福の神注目企業IRセミナー」に出演しました
6/28	【メディア】モーニングスター「WEB記事特集」に当社社長のインタビュー記事が掲載されました
2021年 6/10	【ニュース】テクノスジャパン、経済産業省が定める「DX認定事業者」に選定 —企業向け経営・業務システムにおけるDXを推進—
6/3	【メディア】モーニングスターのWebサイトに、当社2021年3月期決算説明会動画が公開されました
5/28	【メディア】「財界」に当社社長のインタビュー記事が掲載されました
5/25	【メディア】「株式新聞」に当社社長のインタビュー記事が掲載されました
5/21	【メディア】当社社長が「ラジオNIKKEI “相場の福の神”」に出演しました
5/19	【ニュース】テクノスジャパン、DX協創プラットフォームCBP上に「注文決済サービス（SaaS）」を提供開始 —企業競争力の強化、ESG経営、持続可能な社会の実現へ貢献—
4/15	【ニュース】株式会社テクノスジャパン・九州工業大学が産学共同研究スタート —飯塚市にサテライトオフィス（研究室）を開設—
4/15	【メディア】モーニングスターのサイトに、当社社長の対談動画が掲載されました

詳細については下記リンクをご参照ください。

【ニュース】、【メディア】：<https://www.tecnos.co.jp/news/>

【IRニュース】：<https://www.tecnos.co.jp/ir/release/>

- 本資料にて開示されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、将来の数値・数額、事実の認識・評価などといった、将来に関する情報をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が本資料の発表日現在入手している情報に基づき、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎としているものであります。
- また、見通し、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提を使用しています。
- これらの事実または前提については、その性質上変化することがあり、客観的に正確であるという保証も、また将来その通りに実現するという保証もありません。これらの事実または前提が、客観的には不正確であったり将来実現しないこととなりうるリスクや不確定要因は多数あります。
- 従いまして、本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

当社では新型コロナウイルス感染拡大防止のため在宅勤務を推進しており、集合形式のセミナー等の開催は差し控えております。
機関投資家・アナリスト様向けに、Web会議による個別IRミーティングを受け付けていますので、下記メールアドレスへお問合せください。

株式会社テクノスジャパン 広報・IR担当

〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2東京オペラシティタワー14階

Mail investors@tecno.co.jp

東証一部上場 証券コード：3666
株式会社テクノスジャパン



LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE
～ つながる未来を切り拓く ～

